

まいづるし 舞鶴市におけるPAZ内の住民の避難先

- 舞鶴市の6地区(松尾地区、杉山地区、大山地区、田井地区、成生地区、野原地区)住民の避難先については、京都府内及び府外(兵庫県)において避難先を確保。いずれかの避難先を決める際には、避難先の準備状況、避難先までの移動距離や時間、道路状況の他、気象庁から提供される気象情報などを考慮する。
- 6地区における避難先については、自治会等の単位で、避難計画に関する住民説明会や訓練等を通じて対象となる住民に周知。

PAZ内人口	
まつお 松尾地区	〇〇人
すぎやま 杉山地区	〇〇人
おおやま 大山地区	〇〇人
たい 田井地区	〇〇人
なりう 成生地区	〇〇人
のほら 野原地区	〇〇人
合計	〇〇人

兵庫県

避難元	避難先	
松尾地区	神戸市	田園スポーツ公園 他1施設
杉山地区		
大山地区		
田井地区		
成生地区		
野原地区		

京都市

避難元	避難先
松尾地区	京都市東山区内施設 (元有濟小学校 元新道小学校 元清水小学校 元白川(元栗田)小学校 元月輪小学校 元今熊野小学校 京都市東山青少年活動センター 東山地域体育館 陶工高等技術専門校 京都華頂大学・同短期大学 日吉ヶ丘高等学校 華頂女子高等学校)
杉山地区	
大山地区	
田井地区	
成生地区	
野原地区	

<避難方法>

- ①自家用車
- ②バス等の車両による避難
- ③船舶、へり等による避難

※1 不測の事態により対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

高浜町のPAZ内における自家用車で避難できない住民の数

たかはまちょう
高浜町によるアンケート調査の結果、高浜町の3地区における自家用車で避難できない住民は全〇〇〇〇人のうち〇〇人。



PAZ内地域	避難対象者	バス避難者数	自家用車等避難者数
せいきょう 青郷地区	〇〇人	〇〇人	〇〇人
うちうら 内浦地区	〇〇人	〇〇人	〇〇人
たかはま 高浜地区	〇〇人	〇〇人	〇〇人
合計	〇〇〇人	〇〇人	〇〇人

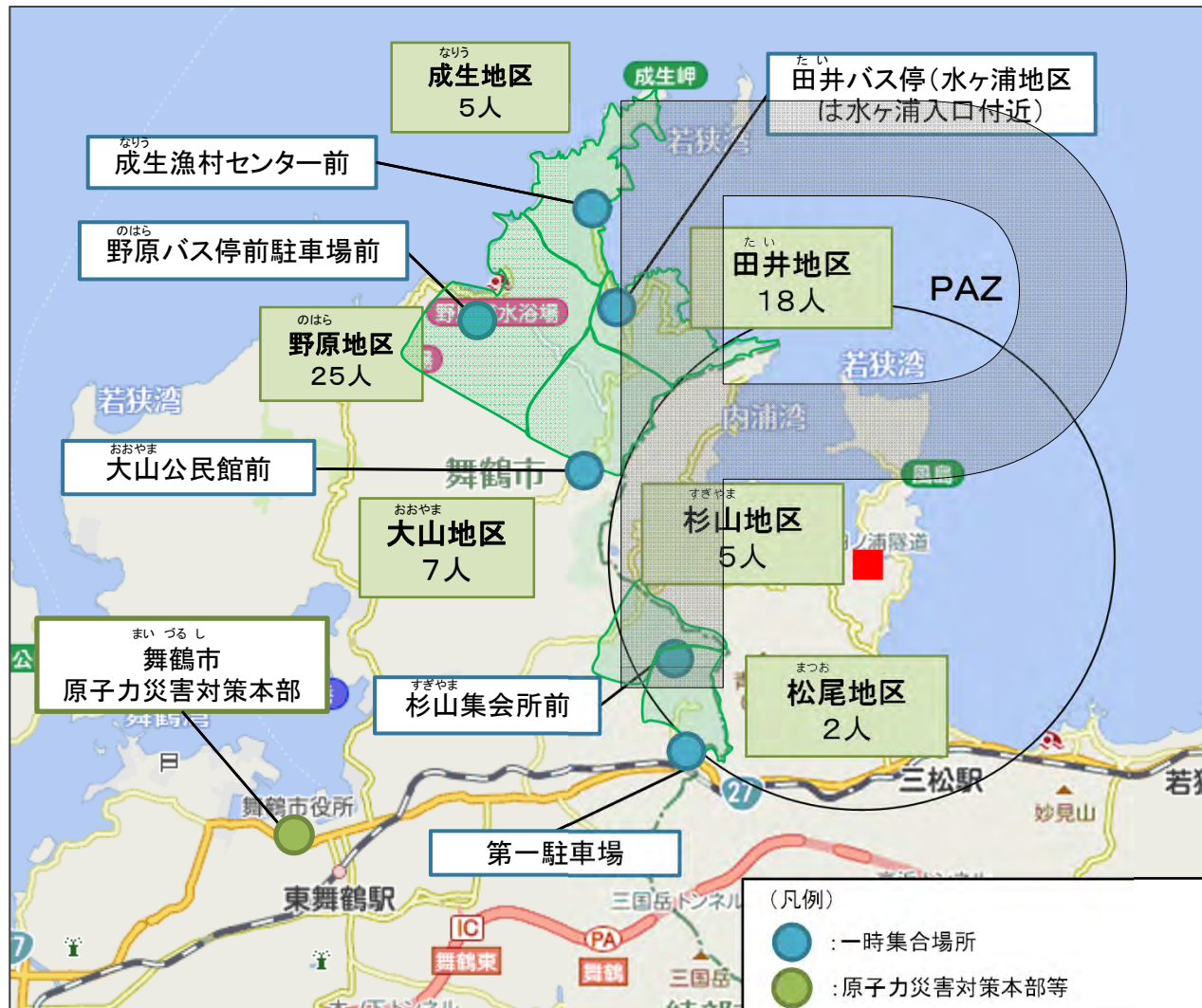
※人数は平成26年4月1日現在
たかはまちょう
※高浜町においては、アンケート結果による数値。

(凡例)
● : 一時集合場所
● : 原子力災害対策本部等

舞鶴市のPAZ内における自家用車で避難できない住民の数

まいづるし
まいづるし

➤ 舞鶴市による想定では、舞鶴市の6地区における自家用車で避難できない住民は全〇〇〇〇人のうち62人。



PAZ内地域	避難対象者	バス避難者数	自家用車等避難者数
まつお 松尾地区	〇〇人	〇〇人	〇〇人
すぎやま 杉山地区	〇〇人	〇〇人	〇〇人
おおやま 大山地区	〇〇人	〇〇人	〇〇人
たい 田井地区	〇〇人	〇〇人	〇〇人
なりう 成生地区	〇〇人	〇〇人	〇〇人
のほら 野原地区	〇〇人	〇〇人	〇〇人
合計	〇〇〇人	〇〇人	〇〇人

※人数は平成26年4月1日現在
 まいづるし
 ※舞鶴市においては、在宅の避難行動要支援者を除く各地区の人口のうち9割が自家用車で避難すると想定

- たかはまちょう
- 高浜町において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民約〇〇〇人分：バス〇台。
 - 全面緊急事態発生時には、福井県嶺南地方のバス会社が保有する車両のほか、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
れいなん
 - 車両及び運転者については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

＜高浜町において全面緊急事態で必要となる輸送能力＞

	想定対象人数 ^{※1}	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	〇〇人	〇台	1台当り45人程度の乗車を想定【資料P47】

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

＜高浜町において全面緊急事態での輸送能力の確保＞

		確保車両台数	備考
		バス	
(A)必要車両台数		〇台	
(B)確保車両台数		計〇台	
確保先	バス会社[福井県嶺南地方] れいなん	〇台	保有車両台数 バス173台
	関西電力	〇台	保有車両台数 バス〇台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

- 舞鶴市において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民〇人分：バス〇台。
- 全面緊急事態発生時には、舞鶴市が保有するバスのほか、舞鶴市内のバス会社が保有する車両、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転者については、京都府バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

<舞鶴市において全面緊急事態で必要となる輸送能力>

	想定対象人数 ※1	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	〇〇人	〇台	1台当り45人程度の乗車を想定 全住民の1割が自家用車で避難できないと想定【資料P48】

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

<舞鶴市において全面緊急事態で必要となる輸送能力>

		確保車両台数	備考
		バス	
(A)必要車両台数		〇台	
(B)確保車両台数		計〇台	
確保先	まいづるし 舞鶴市	〇台	保有車両台数 バス〇台
	舞鶴市内のバス会社	〇台	保有車両台数 バス〇台(乗合含む) タクシー〇台 タクシーを用いた避難が実施できた分必要バス台数は減少
	関西電力	〇台	保有車両台数 バス〇台